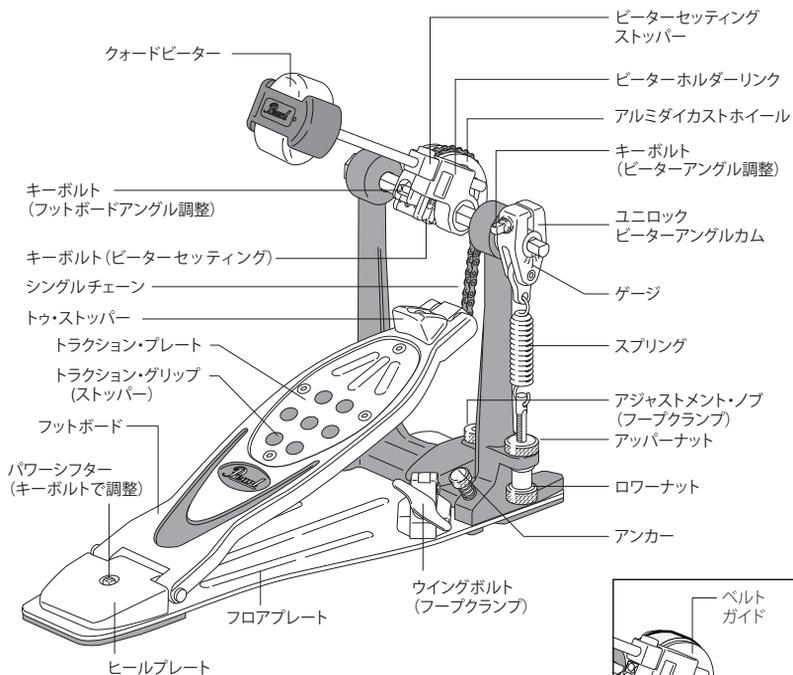


# PEARL DRUM PEDAL

## P-1000

### 取扱説明書

このたびは、P-1000 プロストック・ドラムペダルをお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
この製品の機能を十分に発揮してお使いいただくために、この取扱説明書をぜひごらん下さい。



(注)

P-1000 ドラムペダルは工場出荷時にはシングルチェーン仕様になっています。

## コンバーチブル・ シングルチェーン / ベルトドライブシステム

P-1000ドラムペダルは工場出荷時にシングルチェーン仕様となっていますが、同梱のベルトに付け替えることが出来ます。

### チェーンの取り外し方

チェーンを取り外す際は、図のようにキーボルトとボルトをゆるめボルトと共に取り去ります (図1)。

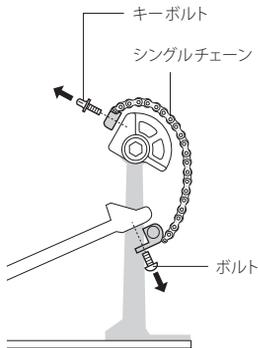


図1

### ベルトの取り付け方

ベルトを取り付ける際は、まずベルトガイドをアルミダイカストホイールに当てがい、付属の六角レンチで固定します。ただし、締めすぎないようにご注意ください (図2)。

次にベルトをキーボルトとボルトで固定して下さい (図3)。

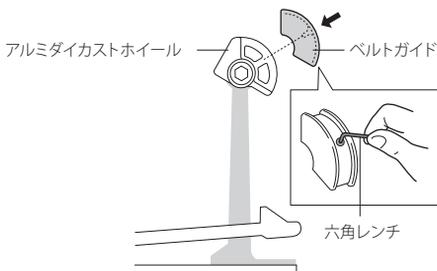


図2

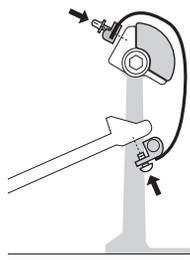


図3

## クォードビート・ビーター

スタンダードなフェルト (A,B) とハードな樹脂 (C,D) の2タイプの素材を使用し、それぞれ異なる形状をもたせた4ウェイビーター。AとCは点でヘッドをヒットし、BとDはラインでヒットします。サウンドの違いをぜひお試しください (図4)。

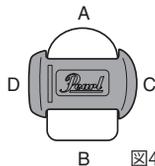


図4

ビーター面	表面素材	サウンド
A	フェルト	ハードで太いアタック
B	フェルト	丸く太いアタック
C	プラスチック	ハードで太いアタック
D	プラスチック	丸く太いアタック

## ビーターのセッティング

ビーターシャフトをビーターホルダーリンクに差し込み、好みのポジションが決まったらキーボルトで固定します。またシャフトのズレや回転を防ぐため、ビーターシャフトに装着されたビーターセッティングストッパーをビーターホルダーリンクの溝にはめ込み、付属の六角レンチで固定します。このストッパーは、セッティングポジションをメモリーする際にも効果的です (図5, 6)。

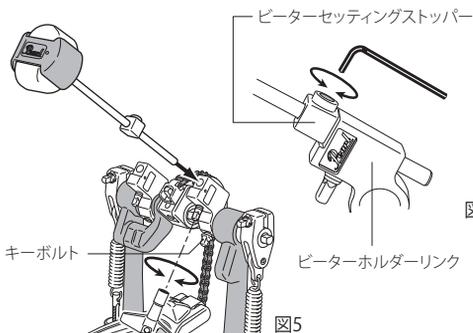


図6

図5

## ビーターアングルの調整

ユニロック・ビーターアングルカムのキーボルトをゆるめると、スプリングのテンションを変えずにビーターのアングルを無段階に調整することができます。アングルが決まったらキーボルトで固定して下さい。

また、ユニロック・ビーターアングルカムには、メモリーゲージが刻みこまれているため、セッティングの際に便利です (図7)。

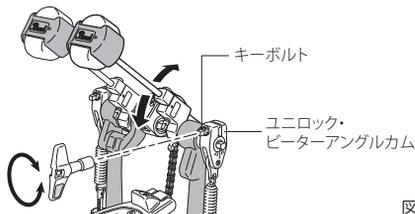
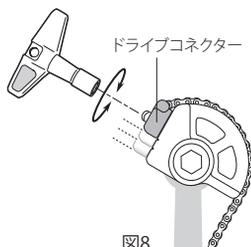


図7

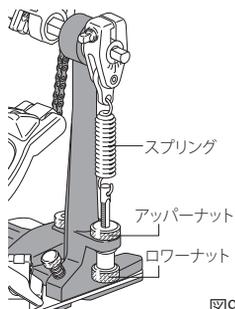
## フットボードアングルの調整

チェーン(またはベルト)のドライブコネクターのキーボルトをゆるめ、ドライブコネクターの取付位置を前後にスライドさせることにより、ピーターアングルを変えることなくフットボードのアングルを3段階に変えられます。調整の際は、ピーターを取りはずしてから行って下さい。位置が決まったらキーボルトで固定しピーターを取り付けて下さい(図8)。



## スプリングテンションの調整

スプリングのテンションを強くしたい場合には、アッパーナットをゆるめてからローナットを締めます。弱くしたい場合には、それとは逆の手順で行います。このシステムは、調整後のゆるみを防ぐためのダブルナット方式ですので、双方のナットを十分に締めてお使い下さい(図9)。

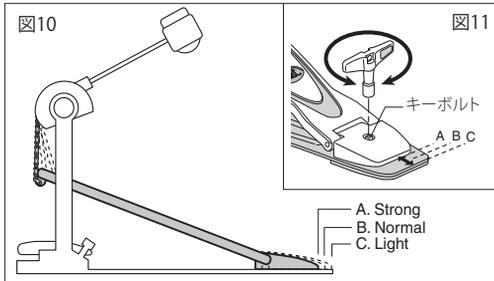


## “パワーシフター”

### アクション・アジャストメントシステム

ヒールプレートのキーボルトをゆるめ、フットボードを前後にスライドさせることにより、フットボードのポジションを3通りに設定することができる。画期的なメカニズム。A、B、Cのいずれかの位置を選び、キーボルトで固定します。それぞれ異なるアクションが楽しめますので、ぜひお試しください(図10、11)。

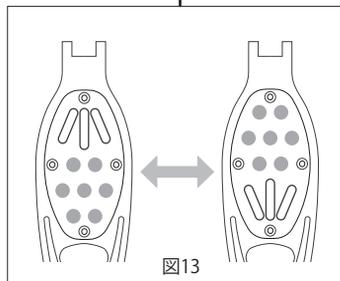
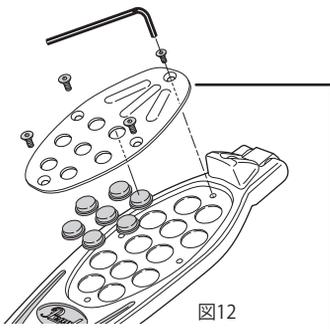
- A. 踏み込んだパワーがダイレクトに伝わる、踏みこたえのあるポジション。
- B. 素直なアクションが得られるノーマルポジション。
- C. スピーディーなフットワークに対応するポジション。



**注意** フットボードのヒールプレートは、必ずフロアプレートに固定して下さい。破損する場合があります

## トラクション・プレートと トラクション・グリップ(ストッパー)の設定

フットボードに埋め込まれたトラクション・プレートのストッパー(トラクション・グリップ)は、個別にとりはずすことができるシステムのため、好みのパターンに変えて、フットボード表面の滑り具合の微調整をすることが可能です。ストッパー(トラクション・グリップ)をはずす際は、付属の六角レンチでトラクション・プレートをはずしてから行って下さい(図12)。またフットボードのパターンを上下逆にする場合には、トラクション・プレートをはずし、方向を変えて再び固定して下さい。(図12、13)



**注意** トラクション・プレートを取りはずした状態のままでは絶対に使用しないで下さい。ケガをする恐れがあります。

## トゥ・ストッパー

つま先のズレを防ぐストッパー。不要の際は、キーボルトをゆるめ、取り去って下さい(図14)。

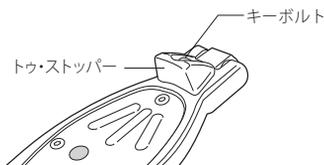


図14

## フープクランプ・システム

クランプの支点の高さが調整できる新設計のフープクランプ・システム。バスドラムのフープをはさみ、ウイングボルトを締め、ペダルを固定します。フープの厚さが合わない場合やペダルが浮き上がってしまう場合は、付属の六角レンチでアレンスクリュー（ホーローネジ）をゆるめ、アジャストメント・ノブをまわして調整して下さい。調整が終わったら、再びアレンスクリューを締めて固定して下さい（図15）。

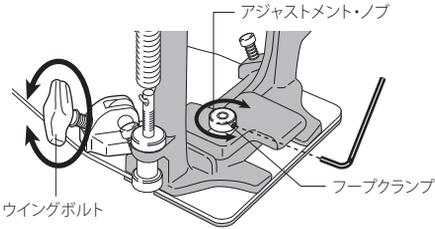


図15

### ▲ 注意

- ◆ アレンスクリュー（ホーローネジ）がゆるんだ場合には、付属の六角レンチで締め直して下さい。また、可動部分には時折注油（グリス等）して下さい。
- ◆ フロアプレート裏面のゴムは、ほこりなどが付着するとグリップ力が落ちてしまいます。その場合は湿らせた布等で拭き取って下さい。

## アンカーボルト

ペダル本体の動きを防ぐためのストッパー。床面にキズをつける恐れがありますので、状況に応じてお使い下さい（図16）。

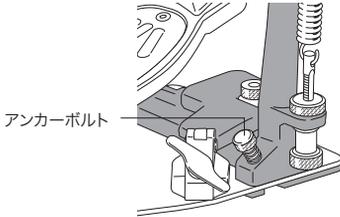


図16

*Pearl*

パール株式会社

〒276-0034 千葉県八千代市八千代台西10-2-1 電話：047-484-9111（代）

<http://www.pearlgakki.com>

製品改良のため予告なくデザイン・仕様を変更する場合がありますので御了承下さい。

Printed in Taiwan.

-0710-